

松緑白花

Vol 49

石垣市立石垣中学校
教 頭 伊舎堂 用右

校長講話

『石中ハーモニー』



校長 入嵩西 義晴

今日の話は、「石中ハーモニー」です。まずは、3年に一度の「体育祭」、今年は、学年別に行われましたが、みなさんの頑張りのおかげで大成功に終えることができました。

2時間余りの短い時間でしたが、それぞれの競技に一生懸命に取り組む姿がとても輝いていました。

生徒会種目「千変万化」は、運動の得意な人も、得意でない人も、みんなが楽しめる種目にしようと、生徒会役員が一生懸命に考えてくれました。いろいろな種目があり、とても楽しい時間になったと思います。どの学年も、一生懸命に頑張る姿、仲間を応援する姿があり、会場いっぱいに笑顔があふれていました。思い出に残る体育祭となったのであれば、やってよかったと思います。

また、24日(日)に行われた合唱コンクールでは、1年1組の皆さんが考えたテーマ「伝統のリレーを 今つなげ! 競い合い 奏で合い 掴み取れ グランプリ! ~ We can do it ~」のもと練習を積み重ね、心を合わせて豊かに表現し、美しいハーモニーを聞かせてもらいました。各学年の金賞、銀賞、銅賞を受賞した学級のみなさん、そして、グランプリを獲得した3年4組のみなさんおめでとうございます。他の学級もと少しでした。よく頑張っていました。

音楽ではよく、「ハーモニーを奏でる」というフレーズが使われます。

「ハーモニー」という言葉は、ギリシャ語が語源で、日本語では、「一致」や「調和」という意味になります。合唱や合奏では、自分の持てる力を精一杯出すことは、当然ですが、仲間のいろいろな声や音と合わせることも必要になってきます。最初は、なかなか合いませんが、何度も練習を積み重ねていくと、自分の出す声や音とは、違う仲間の声や音を感じ取れるようになります。そして、その感じ取った仲間の声や音と「合わせよう」とする気持ちがお互いに生まれ、合唱や合奏ができあがっていきます。これが、「ハーモニーを奏でる」ということにつながっていくのです。皆さんは、日々の練習を通して、また、本番の緊張感のなかで合唱することを通して、学級や学年の仲間、そして、指導してもらった先生と、心を合わせてきました。

リズムや音の強弱、音色を合わせて素晴らしいハーモニーを奏でる一つの音楽を作り上げるために、心を一つに合わせてきたと思います。合唱コンクール当日には、一生懸命に心と音を合わせようとしている姿がありました。

日常生活では、いろいろな人と出会い、いろいろな出来事を経験します。そのなかで、自分のもっているものを大切にしながら、他の人との違いに気づき、その違いを理解するとともに、よりよい人間関係を作っていきます。それこそ、日常生活における「調和の大切さ・美しさ」であり、「他への気づき」です。そのことを学ぶことで、社会性を身に付けていきます。今年の合唱コンクールを通して、皆さんにも「調和の美しさ」と「他への気づき」が育ってきたと思います。

学校生活にも、「ハーモニー」が大切です。中学校には、1年生から3年生、12歳~15歳という同じ年代の人が集まっています。ただ、同じなのは、この年代だけで、あとは、バラバラです。個性や性格も違う。男子もいれば女子もいる。元気で活発な人もいれば、穏やかな落ち着いた人もいます。見た目も大きい人もいれば、そうでない人もいます。勉強が得意な人もいれば、運動の得意な人もいます。芸術的な感性が鋭い人もいますね。石中生は575名ですが、575名いれば、575とおりの違いがあります。それが全部そろって石垣中・石中生です。575名に575とおりの、一人一人の違いがあり、よさや個性があります。そのよさや個性を知り、高めることが大切です。まずは、自分のよさを知り、よさをいかすことです。自分を(自分のよさを)磨き、ステップアップしてください。自分の中のダメなところは、直して、自分を高めてください。そして、仲間に関心を持ってほしいと思います。仲間のよさをよく見て、違いに気づき、違いを理解し、自分のよさをそこに調和させるのです。そこにハーモニーが生まれます。「石中ハーモニー」です。

裏面には、校長講話の続きを掲載しています。お読み下さい。

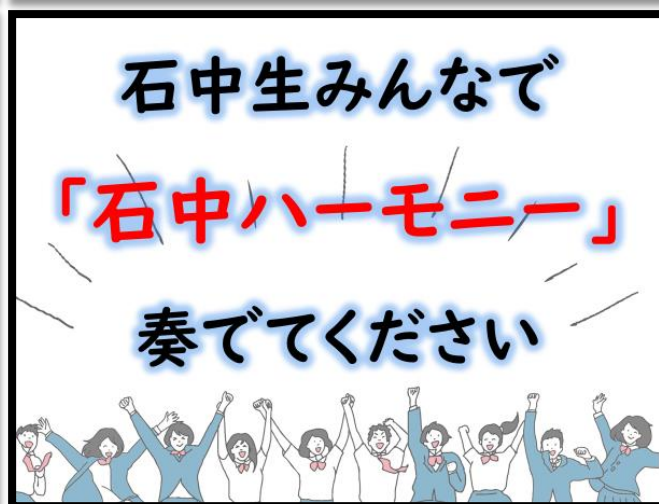
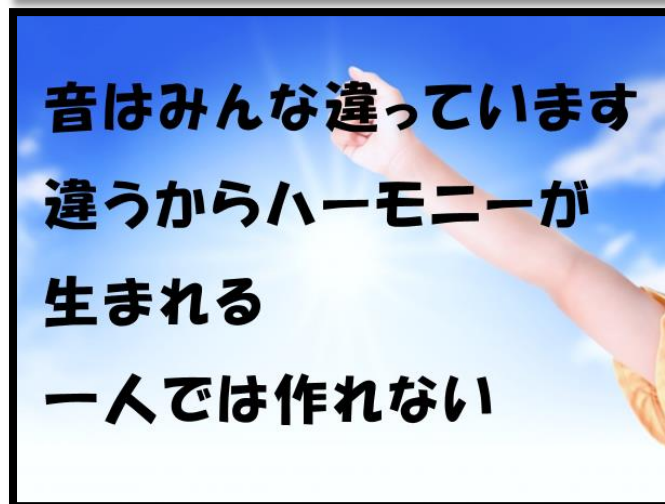
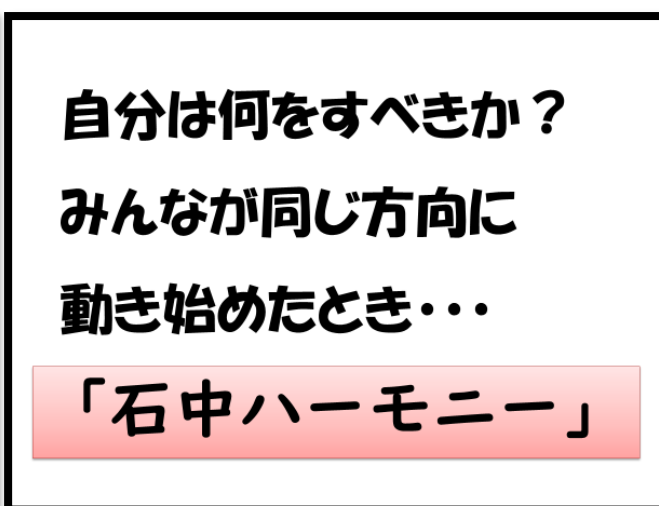
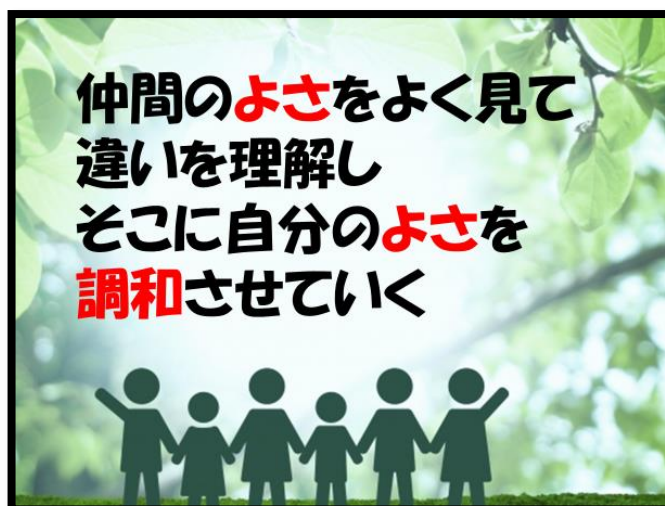
逆に、例え一人でも、間違いをそのままにしたり、他の人にいじわるをしたりするような人ができれば、それは、「石中ハーモニー」を壊すことになります。

あなたは、石中生です。石中の生活があなたの生活です。石中での生活の向上がなければ、あなたの生活の向上はありません。

今、自分は何をすべきかを考えて、みんなが正しく同じ方向に動き始めたとき、石中の素晴らしいハーモニーが生まれると思います。それこそ「石中ハーモニー」です。

合唱コンクールで、皆さんは経験したと思います。音は、もともとみんな違っていています。違うからハーモニーが生まれます。一人では作れないのです。

是非、みんなで石中の素晴らしい、「石中ハーモニー」を奏でてほしいと思います。そうすると、もっと素敵な石垣中学校となると思います。



24日（日）に令和3年度校内合唱コンクールを開催しました。昨年度との違いは、コロナも落ち着き保護者参観ができました。

また、体育館と各学級をオンラインで結び各学年とも他学年の合唱の様子を鑑賞することができたことが昨年度と大きな変わったところです。真野紘先生を中心に各学年の先生方と市教育委員会のICT支援員の協力もあり実現できました。ありがとうございました。一人ひとりの個性がまじわり生まれる「石中ハーモニー」感動！

新職員を紹介します。18日（月）より本校職員として勤務しています。当銘清美先生です。宜しくお願いします。



当銘 清美 先生